

平成23年4月20日

日本曹達株式会社  
農業化学品事業部 普及グループ

# 日曹農薬 登録のお知らせ

平素より日曹農薬の普及拡販にご協力を頂き誠に有難うございます。

この度下記農薬が平成23年4月20日付けで登録変更となりましたので、ご連絡申し上げます。

今後とも、ご指導・ご鞭撻頂きますようお願い致します。

(記)

「ベフラン液剤25」

(農林水産省登録 第21467号)

## 【変更内容の概要】

下記の作物が登録追加・変更になりました。

- 作物名「麦類(小麦を除く)」及び作物名「小麦」について、次の項目を変更。
  - 希釈倍数「乾燥種子1kg 当り10倍希釈液30~50ml」を希釈倍数「10倍」とし、使用量を「乾燥種子1kg 当り30~50ml」とする。
  - 希釈倍数「乾燥種子1kg 当り5倍希釈液15~25ml」を希釈倍数「5倍」とし、使用量を「乾燥種子1kg 当り15~25ml」とする。
  - 希釈倍数「乾燥種子1kg 当り原液3~5ml」を希釈倍数「原液」、使用量を「乾燥種子1kg 当り3~5ml」とし、適用病害名に「ふ枯病」を追加。
  - 使用方法「散布」の使用量を「60~150L/10a」とする。
- 作物名「りんご」、「ぶどう」、「日本なし」、「西洋なし」、「もも」、「みかん」、「かんきつ(みかん、ゆずを除く)」、「ゆず」、「マルメロ」及び「かりん」の使用方法「散布」の使用量を「200~700L/10a」とする。
- 作物名「アスパラガス」及び「りんどう」の使用量を「100~300L/10a」とする。
- 上記以外の使用量を「-」とする。

## 【適用病害名と使用方法】

( 下線太字 が変更部分 )

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ミクタジンを含む農薬の総使用回数
麦類 (小麦を除く)	雪腐大粒菌核病 紅色雪腐病	1,000倍	<u>60~150L/10a</u>	根雪前	2回以内	散布	3回以内 (種子への処理は 1回以内、散布は 2回以内)
	紅色雪腐病	<u>10倍</u>	<u>乾燥種子1kg 当り30~50ml</u>	は種前	1回	塗沫処理	
		<u>5倍</u>	<u>乾燥種子1kg 当り15~25ml</u>				
	紅色雪腐病 条斑病、斑葉病 網斑病、 <u>ふ枯病</u>	<u>原液</u>	<u>乾燥種子1kg 当り3~5ml</u>			10~30分間 種子浸漬	
	斑葉病	250~500倍	-				
なまぐさ黒穂病	1,000~2,000倍	-					

— 次ページに続く —

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ミノタジンを含む農薬の総使用回数
小麦	雪腐大粒菌核病 紅色雪腐病	1,000 倍	60~150L/10a	根雪前	3 回以内 (但し、出穂期以降は 1 回以内)	散布	4 回以内 (種子への処理は 1 回以内、散布及び 無人ヘリ散布は合計 3 回以内、出穂期 以降は 1 回以内)
	赤かび病	1,000 ~2,000 倍		収穫 14 日 前まで			
	紅色雪腐病	10 倍	乾燥種子 1kg 当り 30~50ml	は種前	1 回	塗沫処理	
		5 倍	乾燥種子 1kg 当り 15~25ml				
	紅色雪腐病 条斑病、 <b>ふ枯病</b>	原液	乾燥種子 1kg 当り 3~5ml				
	なまぐさ黒穂病	1,000 ~2,000 倍	—			10~30 分間 種子浸漬	
りんご	紫紋羽病	250 倍	—	苗木植付前	—	根部浸漬	8 回以内 (液剤及び水和剤は 合計 6 回以内 (開花期以降は 3 回以内)、塗布剤 は 2 回以内)
	モニリア病	1,000 倍		展葉期	6 回以内 (但し、開花 期以降散布 は 3 回以内)	散布	
	腐らん病	500 ~1,000 倍		休眠期			
	斑点落葉病 褐斑病、輪紋病 すす点病 すす斑病	1,500 ~2,000 倍		収穫前日 まで			
	黒星病	1,500 倍					
ぶどう	晩腐病	250~500 倍	200~ 700L/10a	休眠期	1 回	散布	3 回以内 (休眠期は 1 回 以内、生育期は 2 回以内)
	褐斑病、黒とう病	250 倍		収穫 60 日 前まで	2 回以内		
	黒とう病、枝膨病	1,000 倍					
日本なし 西洋なし	黒斑病	250 倍		休眠期	1 回	散布	5 回以内 (塗布剤は 2 回 以内、液剤は 1 回以内)
もも	縮葉病	250~500 倍				散布	3 回以内 (休眠期は 1 回以内)
みかん	貯蔵病 害	黒腐病 白かび病	2,000 倍	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内
かんきつ (みかん、 ゆずを除く)		青かび病 緑かび病	2,000 ~3,000 倍				
		黒腐病 白かび病	2,000 倍				

— 次ページに続く —

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ミクダジンを含む農薬の総使用回数
ゆず	貯蔵病害 青かび病 緑かび病	2,000 ～3,000 倍	200～ 700L/10a	収穫前日 まで	2 回以内	散布	2 回以内
	黒腐病 白かび病	2,000 倍					
マルメロ かりん	腐らん病	1,500 倍		展葉期	4 回以内 (但し、開花期以降散布は3回以内)		4 回以内 (開花期以降は3回以内)
アスパラガス	茎枯病	1,000 倍		100～ 300L/10a	収穫終了後 (冬期まで)		5 回以内
りんどう	花腐菌核病 葉枯病	1,500 倍	300L/10a	—	8 回以内	8 回以内	

以上

札幌営業所 TEL:011-241-5581  
 仙台営業所 TEL:022-227-1741  
 東京営業所 TEL:03-3279-6961  
 信越営業所 TEL:0255-81-2323

名古屋営業所 TEL:052-238-0003  
 大阪支店 TEL:06-6229-7343  
 松山営業所 TEL:089-931-7315  
 福岡営業所 TEL:092-771-1336